



町の人口  
(昭和63年 5月31日)

男	3,942 (-7)
女	4,384 (-6)
計	8,326 (-13)
世帯数	2,778 (-1)

## 人権を守って差別のない町明るい町 (7月は同和問題啓発強調月間です)

町民のみならず

方城町同和教育  
推進協議会

会長 岩崎 俊徳

私たちは、健康で明るく  
希望に満ちた日々を送りた  
いと願っています。

しかしながら、私たちの  
まわりには、いろいろな形  
で人権侵害や不当な差別事  
象があります。

なかでも、部落差別は最  
も深刻にして重大な社会問  
題です。

この同和問題は同和地区  
に限られた問題ではなく、  
社会全体のあり方、私たち  
一人ひとりの生き方にかか  
わる問題です。

このため、県・市町村で  
は毎年七月を「同和問題啓  
発強調月間」と設定し、総  
力をあげてこの問題の早期  
解決にむけたさまざまな取  
り組みを展開しています。

方城町におきましても、  
次のような諸行事を行いま  
すので、町民のみならずま  
積極的なご参加をお願いし  
ます。

### 昭和63年度 同和問題啓発強調月間行事計画

行事及び行事概要	行 事 内 容					摘 要
	実施月日	場 所	対 象 者	実施主体		
街頭啓発 各地域において朝の出勤者 に街頭啓発を実施する。	7月1日 (金) 午前7時	町内各地 7ヶ所	町同推協役員 行政(課長)	全町民	総務課	チラシ *県町各800枚
講演会 町民の同和問題に対する 正しい認識と理解を深める ため全町民を対象に実施す。	7月3日 (日) 午前10時	町民体育館	講師 久保正子氏	全町民	町同推協	*ポスターの掲示 *ボールペン *ティッシュ配布
行政職員研修 行政職員の同和問題解決に たいする資質の向上を図る。	7月28日 (木)	中央公民館	講師 プロジェクト チーム	行政職員全員	行政部会 (総務課)	「実態調査報告」
就学前教育研修会 講演会を行う	7月9日 (土)	中央公民館	講師 林えいだい氏	*保母職員 *学校教職員	就学前教育 推進協議会	
啓発・広報 ●横断幕・懸垂幕 ●町広報紙 ●ポスター	期間中	役場 中央公民館 隣保館 歩道橋		全町民	教育委員会	
社会教育関係団体の研修 社会教育に関係する団体の 人々の同和問題に対する理 解を深める。	7・8・9 月協議の上	中央公民館	協議の上	団体所属の人	教育委員会	
県主催講演会 県の主催する講演会に参加 し理解を努める。	7月21日 (木)	直方市民 会館	講演 永吉たず子氏	町同推協 関係者	教育委員会	
地区公民館長の研修会 町内啓発の推進協力者とし ての理解を深めるための 研修	12月 人権週間 に合わせて	中央公民館		各地区の 地区公民館長	教育委員会	
人権作文・ポスター 児童・生徒の人権作文・ポ スターの作成と表現活動を通 して同和問題の理解と関 心を深める。		学校	教師	児童・生徒	学校部会	
企業内における研修会				企業内労働者		

暴力追放は皆んなの手で!! 「小さなことでも」一〇番

### 昭和63年度 方城町青少年

#### 育成町民会議の活動計画

- ① 青少年健全育成・非行防止のため、地域・学校・他団体との連携、協力体制を密にし、昭和63年度も左記のような活動を計画しています。
- ② 「あいさつ」運動の推進
- ③ 各種団体の主催する事業への積極的な参加
- ④ 広報紙による積極的な啓発活動
- ⑤ 大人に対する啓発活動
- ⑥ 「親子教室」の開設
- ⑦ 青少年健全育成・水禍防止キャンペーン
- ⑧ その他

#### 方城町青少年育成町民会議

##### の新しい試みの新しい試み

##### 「親子教室を開きます」

人間は動物の中で一ばん未熟で生まれると言われています。そのことは間違いはないでしょう。でもその未熟さは餌をとるとか立てないとかということ、頭脳の

### 赤ちゃん

#### 親子教室モデル地区事業

全国に広がる親子教室モデル地区

- 4年目 10地区
- 3年目 20地区
- 2年目 20地区
- 新規 福岡県・方城町 外19地区



方城町でも未熟ではないことが、最近十年ぐらゐの間に科学的にわかかってきました。妊婦のお母さんがタバコをすうとお腹の中の赤ちゃんは酸素欠乏で苦しみますし、お母さんがオロオロしますと赤ちゃんもオロオロしはじめます。どうも人間の「性格」「言葉の言いまわし」「感情の表わし方」「味・色に関すること」などは、妊娠から赤ちゃんといわれるコトバを発するまでにその子のものになつてしまふのではないかと。いわゆる性格といわれる優しさとか気の長さ短さは、この時期につくられてしまふようだと分かりはじめてきました。音楽会に行つて、お腹の赤ちゃんがトントンときもその音楽を聞いていては絶対音階を聞いてないとい生その音に対する感覚はできないとかいわれます。心はコトバを発するまでの間に作られていくということが、だんだんわかってきました。

## お互いの人権を尊重し、差別のない町づくりを

### タバコは非行

- 20才未満の人が、タバコを吸うことは禁じられています。
- タバコを吸うと、こづかいがかり家の金銭を持ち出すことにもなります。
- 大人ぶつたつもりが、かえつて子供っぽく見えます。
- タバコぐらゐ吸つたつていいじゃないか、大人だつて吸つているのだから、タバコも吸えないようでは子供っぽい、などいろいろな考えや意見があるよう



しかし、青少年の心や体を考え、社会のルールとして吸うことが禁じられているのです。



習慣性がついて、試験のときなど吸いたくてもイヤイヤし、失敗することが多くなります。タバコを吸う中・高生は、よくないと知つていて吸つているのです。だから隠れて吸うのです。隠れて吸うタバコぐらゐみじめなものはいはすです。あわてて隠した時に、火事になる危険もあります。

### 田川警察署 少年補導員

#### 田川警察署長より表彰される

去る5月10日、田川青少年ホームにおいて、田川警察署管内の少年補導員が、委嘱されてそれぞれ20年、10年にわたり青少年の非行防止、健全育成等、日頃の補導活動に努力されたことに対して、署長より表彰されました。

- 方城町内の補導員では、左記の方々が表彰を受けました。
- 20年表彰 永岡 清正氏
  - 20年表彰 手島 直倫氏
  - 10年表彰 財津 政義氏
  - 古賀 邦明氏



### 「今、学校で……」

#### 三校行事紹介

伊方小学校 現代の子ども達は、勤労体験が乏しいといわれています。顔に汗を流し一生懸命に働くということは、大変有意義なことだと思ひます。そこで、伊方小学校では、愛郷作業として社会福祉協議会主催の「美化運動」に五・六年生が毎年二回参加しています。自分達の手で町内をきれいにする活動を通して、ゴミを散らかしてはいけないという気持ちを一層強くもつたようでした。



### 「愛郷作業」

#### 伊方小学校

弁城小学校では、「ゆとりの時間」を使って、ふれあい集会、みどりの学習、太陽の学習など、一年間にたくさんのおもしろい行事が行われます。

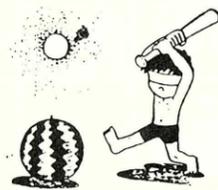
【太陽の学習】 全校ダンス集会、水泳大会、鯉とり大会、マラソン大会など、体育的な活動や野外での活動をとおり、子どもの体力の向上や健康の増進を目的として取りくんでいます。子ども達の明るい顔、一生懸命な顔など教室で見る顔とはまた違つたすばらしい顔を見ることが出来ます。



### 「あいさつ運動」(方城町立三校の)

#### 年間指導目標)のご協力を!!

- ▼ おうちのなかで みんなに 「おはよう」 「いってきます」 「ただいま」 「おやすみ」
- ▼ 近所の人も 町内の方々にも 「おはようございます」 「こんにちは」 「こんばんは」
- 子ども達にすすんで 「あいさつ」の一声をかけて下さい。



### 非行防止標語募集

#### — 優秀作品生まれる —

方城町青少年育成町民会議が、健全育成キャンペーンに使う標語を募集したところ、さすがに中学生の作品と思われるものが集まりました。本町青少年育成町民会議は、例年夏の水禍防止と青少年の健全育成をねらいにキャンペーンを展開、町内を巡回しています。本年は、このキャンペーンに使う標語を方城中学校生徒から募集しました。中学生に作らせることで自らの生活を振りかえる機会と共に、町民会議の活動を理解させることをねらっています。学校では、学級指導でこの活動を理解させ、標語の例などを指導しながら作らせた。

- これらの作品は横断幕に書かれ、キャンペーン期間中、巡回車につけて町内をまわります。以下は、その優秀作品を紹介します。
- 一位 二年 赤熊 浩行
  - ともそうよ
  - 心のおかり 勇気の灯
  - 二位 三年 下坂元 愛子
  - 乗らないで
  - あなたの心の 非行列車
  - 三位 一年 藤浦 喜代香
  - 広げよう
  - 正しい考え 未来のために
  - 入選作 二年 崎山 かおり
  - 目をとじて
  - 未来の光を みつけよう
  - 入選作 一年 朝部 葉子
  - いくな いかせるな
  - 非行への道

### 「ふれあい合宿訓練」

#### 方城中学校

方城中学校では例年、新入生のふれあい合宿訓練を行っています。本年度は、4月26日〜28日の3日間を自然に恵まれた英彦山青年の家で過ごしました。内容は、クラスマッチ・行進練習・キャンドルのつどい・オリエンテーリング・ホームルーム・野外調理・反省会等です。入学して間もない時期の生徒に中学生としての自覚を持たせ、また集団生活の厳しさも体験させることが出来ました。生徒たちにとっては、楽しさ半分苦し半分合宿だったと思ひますが、学んだことを、今後の生活にいかして欲しいと思ひます。

# お知らせ

## 外科医に「詫広先生」が就任

方城町立病院



方城町立病院の外科を担当し、長い間町民の皆さんに親しまれておりました、高田先生が、三月三十一日付をもちまして退職致しました。(嘱託として五月三十一日まで勤務)永い間本当にありがとうございました。

業され、衛生部県立病院課、県立遠賀病院、衛生部医務課、赤池町立病院等の勤務経験があります。外科医としての詫広先生の専門は消化器外科です。

高田先生と交代して、外科医療は、詫広定三(たくましゅうぞう)先生が就任致しました。

先生は、昭和三十二年一月二十九日生まれ満三十一才です。

昭和五十六年自治医科大学を卒業



## 方城町「シンボルツリー」名の募集について

### 募集について

今回、方城町では「町の木」を制定し、公共施設等に植栽して広く町民の皆さまに親しんでいただくため、次の要領で樹種名の募集を行います。

#### 【応募方法】

- 一、郵便ハガキに樹種名、住所、氏名を記入してください。
- 二、あて先 方城町役場産業課
- 三、締切日 七月二十日(当日消印有効)
- 四、制定された樹種名を応募された方には粗品を進呈します。

## 不起訴だとあきらめていませんか！

### 田川検察審査会

検察審査会は、選挙権を有する国民の中から選ばれた十一人の検

察審査員で構成され、検察官のしきたり処分に正しかったかどうか

## 県職員(中級)採用試験

- 一、採用予定人員 行政事務十八名、警察事務十七名、栄養士六名
- 二、受験資格 昭和三十八年四月二日(昭和四十四年四月一日までに生まれた人(ただし、栄養士は栄養士免許を有する人、または来年五月までに免

## 第四回リウマチ教室の開催について

嘉穂病院では、リウマチ患者さん方の自立と病気進行の予防のために次のようにリウマチ教室を開いております。どなたでも受講できます。家族の方の参加もお勧め

七月十三日(水) 八月三日(水) 九月七日(水) 十月五日(水)

午後一時三十分～三時

## 第50回身体障害者集団見合い

### 結婚は出会いから

- ▽日時 昭和63年8月28日(日) 午前10時30分から
- ▽会場 福岡市中央区六本松二丁目二一三二
- 福岡県社会福祉センター 4階
- ▽申込手続 ①住民票一通(再婚者は戸籍謄本と住民票各一通) ②写真二枚はがき半分位の大きさ ③身障者手帳

かを審査することを主な仕事としています。

検察官は、ある事件を起訴するかどうかの判断を任されているので、証拠が充分でない場合のほか、証拠があっても、いろいろな事情を考慮して容疑者を処罰する必要がないと考える場合には、事件を起訴しないことができます。

しかし、多くの事件の中には起訴すべき事件を不起訴にするということもないとは言えません。

検察審査会は、そういう場合のために設けられ、検察官の不起訴処分の当否について、一般住民の健全な常識を反映させているので、検察審査会は、全国の主な裁判所の中にあります。

審査申立ての手続は簡単で、費用は一切かかりません。

また、申立人の秘密は固く守られます。

## 広報ほうじょう (156号)

昭和六十二年七月一日発行

発行 方城町役場

編集 総務課

印刷 日光印刷

- ▽参加費用 500円(昼食は準備します)
- ④印かん
- ▽申込期限 8月18日まで
- ▽申込受付時間 毎日9時～15時(日曜・祝日・土曜午後を除く)
- ※通常結婚相談申込みは期限なく毎日9時～15時まで受付けています。(日曜・祝日・土曜午後を除く)
- ※相談申込みは無料です。お気軽に申込みにおいでください。
- ▽申込先 福岡県身体障害者結婚相談所
- ☎〇九二七五一一三三三九